



転はないように
気を付けてね



岩国れんこん掘り取り体験



2月7日、尾津町のれんこんほ場で岩国れんこんの掘り取り体験が行われ、市民や岩国基地関係者が参加しました。
地域の特産物である「岩国れんこん」への理解を深めてもらおうと開かれたもので、参加者はレンコンが横向きに生えていることや、掘り取り方などをレンコン農家から教わった上で、ほ場に入りました。
体験中、ぬかるんだ泥に足が埋まって動けなくなることもありましたが、周りの人と協力しながら約350kg分のレンコンをしつかり掘り取っていました。





無病息災を祈願して

1月8日、錦川清流線を利用して甘日市市の巖島神社で初詣を行う「新春初詣列車」が運行されました。錦川清流線の利用拡大のため毎年恒例で行われている初詣列車は今回で37回目を数え、錦・美川地域を中心とした錦川流域の多くの参加者でにぎわい、それぞれが今年一年の無病息災を祈願しました。



筆を走らせ、心新たに

1月5日、周東中央公民館と周東中央福祉会館で「第32回周東町新春書き初め会」が行われました。小・中学生57人が参加し「ゆめ」「初日」「飛梅」「輝く未来」の題目に取り組みました。参加者は新しい年を迎え心新たに、緊張した面持ちで筆を走らせていました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



新春！郷土かるた大会

1月15日、玖珂こどもの館で39回目となる「玖珂郷土かるた大会」が開催されました。40人以上の幼稚園・保育園児と小学生が選手、中学生や保護者が読み手となって、地域の文化や歴史を学びながら、学年ごとに優勝を目指して白熱した試合を行いました。



だるまがずらり

1月6日～22日、由宇歴史民俗資料館で「だるま展～日本のおもちゃはなぜ赤い～」が開催されました。大竹市の小沢康甫氏が全国を回り集めた千点以上のコレクションの内74点を展示したもので、来場者は地域によって異なる色や形、素材のだるまを熱心に見入りながら、小さな郷土玩具にも大きな意味があることを学びました。



世界に一つだけの作品

1月24日、本郷ふるさと交流館で「おとな可愛いピクトリアンチックなアンティークポーチ作り」が開催され10人が参加しました。ポーチにはパッチワークの要素を取り入れており、受講者はさまざまな縫い方を学びながら、アンティークレースを使用するなど、自分好みのデザインで思い思いに作品を作りました。



竹刀のぶつかり合う音が響きわたる

1月15日、美和トレーニングセンターで「第38回美和新春剣道大会」が開催され、市内外から17団体185人の小・中学生が参加しました。熱戦が繰り広げられた会場では、気合の入った掛け声と竹刀をぶつけ合う音が響きわたり、選手たちは日頃の練習の成果を存分に発揮していました。



ちょこっとおしゃれな大人チョコ作り

1月23日、中央公民館で洋菓子教室が開かれ、甘さ控えめのおしゃれなチョコレート菓子「チョコレートサラミ」を作りました。溶かしたビターチョコレートにバターやマシュマロ、ドライフルーツなどを混ぜ、固めて切り分けた後バレンタイン用にリボンやフラワーでラッピングしました。



コミュニケーションから育む人権

1月19日、錦ふるさとセンターで人権研修会「Pep Talk 言葉が変われば心も身体も健康になれる健幸法」が開催されました。

講師の末永成一氏が、元気・活気・勇気を与えるトーク術についてユーモアを交えて講演した後、参加者は二人一組で実践し、コミュニケーションにおける言葉選びの大切さを学びました。